

統計研修講義計画書

研修課程	本科（総合課程）	講義科目	統計調査	講義時間	10 コマ
講 師	河野 好行 総務省統計研究研修所 教授				

※1コマ 70分

講義のねらい

統計は、国民の合理的な意思決定の基盤となるもので、社会の様々な場面で私たちの判断の拠りどころとなっています。特に行政機関等が作成する統計は、国・地域の社会や経済の実態を客観的に捉えたものとして、行政機関はもとより、企業経営や学術研究など、広く各方面で利用されていますが、このような統計の多くは統計調査から得られたものです。

本課程では、公的統計調査を中心に、統計調査を企画するための基本となる事柄とその内容や留意事項、調査の事務と調査の実施、結果の編成（統計の作成）などについて、また、統計を利用するに当たって身に付けておくべき知識などについて、基礎的な解説を行います。

指導項目と内容

指 導 項 目	内 容
統計と統計調査	<ul style="list-style-type: none"> ・ 統計と統計調査の本質的な意味と性質、機能 ・ 統計データと統計調査の種類、内容と特徴
統計調査の企画・設計	<ul style="list-style-type: none"> ・ 統計調査の調査事務の流れと調査企画の原則や留意 ・ 調査目的や調査方法など、統計調査を構成する主要事項の企画内容
統計調査の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・ 調査系統（調査の流れ）と各調査組織の事務内容、調査員の役割と業務 ・ 実地調査と正確性確保のための事務
結果の集計と公表	<ul style="list-style-type: none"> ・ 調査実施後の事務として、調査票の審査、調査票の集計、結果票審査、結果の公表に係る事務内容や検討点
統計の誤差	<ul style="list-style-type: none"> ・ 統計における誤差と調査実施に関わる非標本誤差（後発の標本調査の講義につながるもの）
統計法と調査事務 統計の抱える問題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 調査事務と統計法手続きの関係 ・ 行政の効率化、財政状況、調査環境など統計調査を巡る状況の変化、基本計画の改定などの動向
テスト	<ul style="list-style-type: none"> ・ テストとその解説

講義形態 指導方法	配布テキストとパワーポイントに基づき講義、テストとその解説
受講に必要な 基礎知識等	特になし